

A COMMUNICATIVE GRAMMAR OF ENGLISH

A COMMUNICATIVE GRAMMAR OF ENGLISH

コミュニカティブ・カレッジ英文法

Yoshinori Tomoshige



NAN'UN-DO

A COMMUNICATIVE GRAMMAR OF ENGLISH

Copyright © 2010

by

Yoshinori Tomoshige

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the author and Nan'un-do Co., Ltd.

はじめに

本書の目的は、高等学校までに学習した英文法に関する諸事項の復習あるいは整理を行なうと同時に、一歩進んだ内容にも触れながら、「読む、書く、聞く、話す」の4技能を伸ばす土台を作り上げることにあります。特に、本書は、しっかりとした英文法の知識を確立し、英語でコミュニケーションがスムーズに行なえることを主眼にしています。このことは、結果的に、TOEICやTOEFLなどの試験に対応できる文法知識を習得することにつながります。文法は、一般的な規則、あるいは決めごとですから、それを守ることは、いわば、交通ルールを守って車を運転することと似通ったところがあると言えるでしょう。

交通標識の知識なくして車を運転することが不可能であるように、文法知識なくして正しい英語を使ってのコミュニケーションは不可能であると思われます。交通ルールを違反すれば、大きな事故を引き起こす可能性が出て来るように、文法規則を守らなければ、コミュニケーションに支障をきたすことが出てくるでしょう。もちろん、コミュニケーション・ギャップが生じたからといって、肉体的にけがをすることはありませんが、社交上、対人関係に支障をきたすことは考えられるわけです。

以上のことから、文法あるいは語法に関する知識が重要であることは最早自明であると言えます。要するに、例えば、go to the churchとgo to churchの間の意味の違いや、be going toとwillの使われ方の違いに関する知識を身に付けておくことは英語学習において欠かせないということです。本書が、基礎的英語力をより高度な英語力へと発展させる橋渡しになることを願っています。

最後に本書の出版を御快諾いただいた南雲堂に深く感謝の意を表します。特に、編集部の青木泰祐氏には、大変お世話になりました。本書が完成するまでの長期に渡る氏の御尽力に心よりお礼を申し上げます。

著者

CONTENTS

Unit 1	不定詞 1 (Infinitives, Part 1)	6
Unit 2	不定詞 2 (Infinitives, Part 2)	10
Unit 3	分詞 (Participles)	14
Unit 4	動名詞 (Gerunds)	18
Unit 5	動名詞と不定詞 (Gerunds and Infinitives)	22
Unit 6	時制 (Tense)	26
Unit 7	未来時を表す表現 (Expressions Denoting Future Time)	30
Unit 8	進行形 (Progressive Form)	34
Unit 9	完了形 (Perfect Form)	38
Unit 10	態 (Voice)	42
Unit 11	仮定法 1 (Subjunctive Mood, Part 1)	46
Unit 12	仮定法 2 (Subjunctive Mood, Part 2)	50
Unit 13	比較構文 (Comparison Constructions)	54
Unit 14	否定 (Negation)	58
Unit 15	名詞 (Nouns)	62

Unit 16	代名詞 1 (Pronouns, Part 1)	66
Unit 17	代名詞 2 (Pronouns, Part 2)	70
Unit 18	形容詞 (Adjectives)	74
Unit 19	冠詞 (Articles)	78
Unit 20	數量詞 (Quantifiers)	82
Unit 21	副詞 (Adverbs)	86
Unit 22	動詞 (Verbs)	90
Unit 23	法助動詞 1 (Modal Auxiliaries, Part 1)	94
Unit 24	法助動詞 2 (Modal Auxiliaries, Part 2)	98
Unit 25	前置詞 1 (Prepositions, Part 1)	102
Unit 26	前置詞 2 (Prepositions, Part 2)	106
Unit 27	前置詞 3 (Prepositions, Part 3)	110
Unit 28	接統詞 (Conjunctions)	114
Unit 29	關係詞 1 (Relatives, Part 1)	118
Unit 30	關係詞 2 (Relatives, Part 2)	122

不定詞には **to** 不定詞と **to** なし不定詞（あるいは裸不定詞）の二つの種類がある。**to** 不定詞は、動詞的な性質を持ちながらも、名詞・形容詞・副詞の働きをする。**to** なし不定詞は慣用的表現で用いられる場合を除けば、必ず他の動詞あるいは助動詞と一緒に使われる。

● 1. to 不定詞の名詞的用法

[A] [主語として]

To prove her innocence would be very difficult.

主語としての **to** 不定詞は、一般的に、形式主語 **it** を主語に立て、文末に回される形が好まれる。

It is important **to make** every effort to learn English.

[B] [補語として]

My aim is **to succeed** in this business.

It is my aim **to succeed** in this business.

[C] [目的語として]

Mary decided **to study** American literature.

この形をとる動詞には、**expect, like, love, plan, prefer, promise, refuse, try, want, wish** などがあるが、目的語としての **to** 不定詞は、形式目的語 **it** で代表することがある。

The lawyer found it impossible **to prove** his guilt.

She thought it better **not to change** the plan.

● 2. to 不定詞の形容詞的用法

[A] 先行詞が **to** 不定詞の主語の場合

I want someone **to go** to the movie with me.

[B] 先行詞が **to** 不定詞の目的語の場合

I have a book **to read** on the train.

[C] **to** 不定詞が先行詞と同格的に働く場合

She had a good reason **to do** it.

[D] **to** 不定詞が関係副詞の働きをしている場合

The time **to act** is now, not later.

◎ 3. to 不定詞の副詞的用法

[A] 目的を表す場合 「…するために」

Mary went to the department store **to buy** a present for John.

John is going to France **to learn** French.

[B] 結果を表す場合 「…となる」

She grew up **to be** a wonderful woman.

[C] 原因を表す場合 「…して」

I was surprised **to hear** the news.

[D] 判断の根拠を表す場合 「…するなんて」

What a lucky girl she is **to have** such a wonderful family!

◎ 4. 副詞的用法の慣用表現

The question was **too** difficult for me **to solve** (it).

He is not old **enough to** travel alone.

He was **so kind as to** tell me the way to the nearest station.

◎ 5. 不定詞の意味上の主語 不定詞には、必ず、意味上の主語がある。それが文中に表される場合と表されない場合とがある。

[A] 不定詞の主語が省略される場合

[主語と不定詞の意味上の主語が同一の場合]

I want **to read** the book.

I have some books **to read**.

[一般の人々の場合]

It is hard **to master** a foreign language in just a few months.

It is dangerous **to swim** in the deep parts of the lake.

[B] 不定詞の主語が表される場合

[不定詞の主語が補文の主語の場合]

I want *Mary* **to go** there.

I expect *John* **to become** a successful actor.

[不定詞の主語が他動詞の目的語の場合]

The doctor advised *John* **to stop** smoking.

He forced *Mary* **to go** there.

練習問題

A. 次の各文の不定詞の用法は何か答え、日本語に直しなさい。

1. I want you to go to the bank instead of me.
2. John has a family to support.
3. I was shocked to hear the news of his sudden death.
4. I'm glad to meet you.
5. She likes to play the piano.

B. 次の各ペアの文の意味がほぼ同じになるように空所に適語を入れなさい。

1. He was kind enough to drive me home.
He was () kind () () drive me home.
2. The car is so expensive that she cannot buy it.
The car is () expensive () her () buy (it).
3. I can't finish my work until 5 o'clock.
It is () () () to finish my work until 5 o'clock.
4. It seems that she was ill.
She () () () been ill.
5. You need to see a doctor as soon as possible.
It is () () () to see a doctor as soon as possible.

C. 空所に適語を入れて英文を完成させなさい。

1. 私は彼を説得してこちらに来させることは難しいと思った。
I () it difficult () persuade him to come here.
2. 彼女には彼女を助けてくれるたくさんの友人がいる。
She () a lot of friends () help her.
3. 彼は何冊かの雑誌を買いに本屋へ行った。
He went to a bookstore () () some magazines.
4. 私は彼女が流暢に英語を話すのを聞いてびっくりしました。
I was astonished () () her speak English so fluently.
5. 秋はスポーツをするのに最高の季節です。
Fall is the best season () () part in sports.

6. 彼女は一人で旅行ができるだけの年にはなっていません。
She is not old () () travel alone.
7. パーティーに遅れないようにタクシーをひろったほうがいいですね。
We had better take a taxi () as () to be late for the party.
8. 彼女はとても悲しかったので口がきけなかった。
She was () sad that she () not speak.
9. やせるためには、食べ過ぎず適度な運動をするのが一番でしょう。
In () () lose weight, it would be best not to eat too much and to take moderate exercise.
10. 私たちは試合が始まるのを今か今かと待っていました。
We were eager () the game () start.

D. 次の日本語を to 不定詞を用いて英語に直しなさい。

1. 外国語を学ぶことは易しいことではありません。

2. 私には私を助けてくれる友達がたくさんいます。

3. 冷蔵庫の中に何か食べる物がはいています。

4. 今朝私は魚釣りに行くために早起きしました。

5. 彼はそれをもう一度やってみたがだめだった。

6. 私は再び彼に会って嬉しかった。

7. 髪の毛をピンク色に染めるなんて彼は気が変に違いない。

8. 私は将来フライトアテンダントになりたいです。

9. かれらは私たち二人のことに干渉する権利はありません。

10. 私はいつかあなたがフライトアテンダントになることを期待しています。
